

101回目を信じて

校長 小池 克行

When nothing seems to help, I go look at a stonecutter hammering away at his rock, perhaps a hundred times without as much as a crack showing in it. Yet at the hundred and first blow it will split in two, and I know it was not that blow that did it, but all that had gone before.

何も助けにならないと感じたとき、私は石切工が岩石を叩くのを見に行く。100回叩いても、岩石にはひび割れは見えない。しかし、それでも101回目で、岩石は二つに割れるのだ。そして私は、最後の一打が岩石を割ったのではないことを知っている。それまで叩いた101回の結果なのだ。

ジェイコブ・リース (1849~1914 アメリカのジャーナリスト)

この言葉は、NBA (アメリカのプロバスケットボールリーグ) サンアントニオ・スパーズのロッカールームに飾ってある有名な言葉だそうです。日本で言うところの「継続は力なり」といったところでしょうか。「無意味に思えることでも、全ては成功に繋がっていて、継続することに意味があり、大切である」という格言です。

つい最近のことですが、この言葉と出会い、心の中にスッと入ってくる感覚がありました。日々の生活では、結果を求めるあまり、その過程で迷ったり自信を失ってしまったりすることが、とても多くあるように感じます。私たち大人でさえそうですから、多感なときを過ごしている生徒のみなさんはなおさらでしょう。私たちは、生徒に寄り添い、努力している過程を称え、成功を信じ、ときには一緒に悩むこともあるかもしれませんが、進むべき道を示せる大人でありたいと思います。

さて、1学期も残すところあとわずかとなりました。4月、新たな気持ちで新たな仲間とスタートした頸城中学校での生活は、生徒のみなさんにとってどうだったでしょうか。みなさんに伝えた「相手を認め、尊重し、大切にすること」「授業を大切にすること」は、心の片隅に置いて生活できたでしょうか。体育祭や部活動の各種大会といった大きな節目では、成長を実感することができました。また、日々の生活では、仲間と協力し、前向きに学校生活を送る様子がうかがえます。4月から変わらず、元気でハツラツとしたあいさつが響いていることはとても素晴らしく、地域の方からも「あいさつが素晴らしい」「いつも元気をもらっています」との言葉が届いています。とても嬉しいことです。

ちょっとゆっくりできる夏休み。みなさんはどのように過ごすのでしょうか。32日の夏休みはあっという間かもしれませんが、何かにチャレンジするには良いタイミングです。努力を続けることは成長すること。101回目はきっとやってくる。成長を実感できる夏休みであってほしいと願っています。

頸城中生徒の活躍

地区各種大会

陸上部

共通男子	砲丸投	6位
共通男子	四種競技	6位
低学年男子	4×100mR	6位
共通女子	走幅跳	1位
共通女子	砲丸投	4位

卓球部

対青海中	0-3	負
対中郷中	2-3	負
対潮陵中	3-1	勝
対西山中	0-3	負

(特設女子卓球 女子シングルス
優勝 県大会出場)

野球部

予選Bブロック 対柿崎中 1-7 負

ソフトテニス部

予選Dブロック	
対城西中	1-2 負
対糸魚川中	0-3 負
対柏崎第二中	2-1 勝

バレーボール部

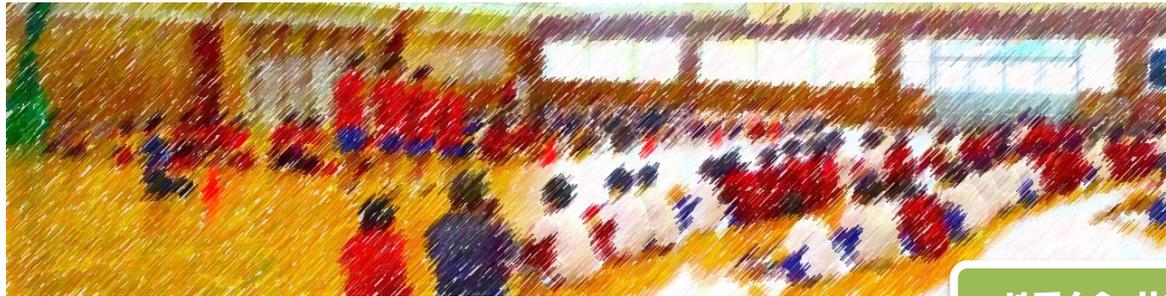
予選リーグ	
対松浜中	2-0 勝
対KVC	2-0 勝
対雄志中	2-0 勝→リーグ1位通過

決勝トーナメント

対城北中	1-2 負
------	-------

上越地区吹奏楽コンクール

中学生Bの部 金賞 県大会出場



地区大会 壮行式

お世話になりました

職員の育児休業に伴い4月から当校に勤務しておりました講師と、令和2年9月から当校に勤務しておりましたALTですが、7月26日をもって任期を終え離任いたしました。なお、後任については、改めてお知らせします。

学校保健委員会を行いました

P T A保健部の主催で、講師に日本眠育推進協議会理事の方をお招きして、「眠育のすすめ～メディアとの付き合い方を中心に～」と題してご講演をいただきました。「大切な睡眠のはたらき」「体内時計と睡眠」「メディアとの付き合い方」「よい生活リズムをつくろう」など、成長期を迎えている生徒にとって、とても示唆に富んだ内容でした。



「自律する人へ…させられる人から、自分で決めて実行する人へ変わっていくことがとても重要です」とのお話がとても印象に残りました。